

知行合一

「義を見て為（せ）ざる勇なきなり」

・（自分が行うべきことを前にしながら行わないのは、勇気がないことである。）

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

学校だより 第3号

令和2年5月15日

文責 校長 沖田 龍藏

学年分散登校を通して、家庭学習への助言・指導で学力の定着を目指します。

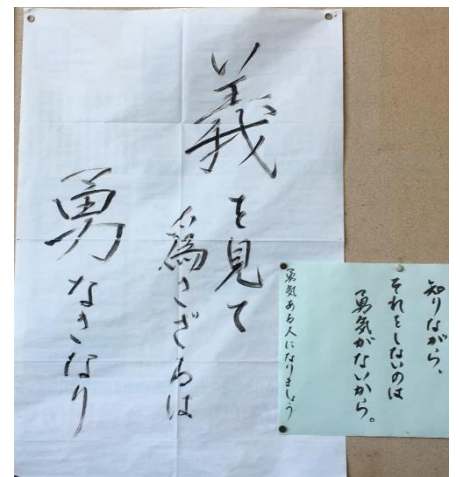
先週の学校登校日には、各教科担当から臨時休業（休校）中の家庭学習のしかたについて、教科ごとに説明がありました。今週は、学年ごとに登校したならば、健康観察等を行った後は、少人数（5人～6人）に分かれて、家庭学習の課題が計画的に進んでいるかを確認し、教科担任を中心に、数力所に分かれて（「3密」を避ける）、生徒の学習面の不安を少しでも和らげるうえで、全職員で分からない点を個別指導しています。学校では、各教科担任が作成した課題を指示し、自分で計画を立てて、取り組む家庭学習の流れを作っています（「やりとり帳」に学習プランを作成）。

今日は、3年生が登校し、個別指導を受けました。写真はその時の様子です。明日は2年生、明後日は1年生の予定です。一人一人が健康管理を心がけて、元気に登校できるようにしてください。（家庭での検温、マスク着用の確認をお願いします。ただし、風邪症状等があるときは、学校に欠席連絡をされてください。）



さて、孔子は、弟子たちとの言行録「論語」の中で、「行有余力、則以学文（行いて余力あれば、すなわち以て文を学ぶ）」と、「家では親の手伝いをし、地域では人に親切にし、人々に対し誠実にしなさい。日常の生活態度を整えて、それでもなお余裕があれば、書物を読んで勉強しなさい。」と諭しています。およそ1ヶ月前の入学式でも申したように、校庭にある石碑「継続は力なり」で学び続けることの大切さを孔子も述べていたことがわかります。校舎内の廊下や階段には、先達が残した書（写真）がいくつかあります。芦北町のまちづくりで掲げてある「温故創新」

（古きを学び知り、生きる力を培い、新しさを創る）を実現するうえでは、田浦中生も中学生時代にやるべき学習や家事手伝い、適度な運動や読書などの趣味を充実させてほしいと壁にある「論語」を見ながら、考えた次第でした。子供たちは、新型コロナウイルス感染症対策にともなう不安を大人以上に抱えていると思います。ご家庭と一緒にこの困難を乗り越えていきたいと思います。お子さんへの声かけを引き続きよろしく申し上げます。私たち職員も、学校再開に向けた準備を怠らずに行ってまいります。



ホームページで情報発信『芦北町立田浦中学校』で検索を

芦北町では、論語教育に力を入れています。孔子（紀元前552年）は、山東省 魯の国に生まれ、貧しい家庭に育ち、幼き頃、両親が亡くなったため、独学で苦学をしながら礼学を修めました。